

保護者の皆様

札幌市立東園小学校

校長 相馬 聡

持ち物の軽減化にかかわって～置き勉、始めます!～

近年、子どもたちの毎日の学習道具が非常に重たいと言われています。さらに、水筒の持参、重いChrome Bookの持ち帰りも行っています。そこで東園小学校でも、「置き勉」を始めます。



「置き勉」とは、教科書類を「置きっ放し」にするのではなく「自分で置くものを決める」ということです。

<目指す子どもの姿>

札幌市では「子どもが自分で決めること」を大切にしています。本校では教科書類の取り扱いについても学習内容や家庭学習の計画を考えながら、自分で持ち物を管理し、自分で取り扱いを決定できる子を、目指します。学校と家庭と手を携えて、小学校6年間を通して育てていきます。



東園5本の指の中指～よく考え工夫する子

☆計画的に取り組む子☆

家庭学習において自分で取り組むべき内容(復習や予習)を考え、計画的に取り組めるようにしましょう。

☆自分で判断できる子☆

前日には学習の準備をする習慣を付けましょう。時間割を見ながら、必要な持ち物を考え、理由をもって置いていく教科書、持ち帰る教科書を判断しましょう。

学年	発達段階を考えた置き勉の取組	置き勉できるもの
1・2年生	学習用具を揃える習慣の定着を図ることを目指します。前日に時間割を見ながら、自分で学習用具を揃えられるよう、一緒に準備することから始めてください。特に、鉛筆5本は毎日削って、筆箱の中はきれいにしましょう。	「置き勉」はせず、書写・生活・音楽・道徳の教科書、鍵盤ハーモニカを学校に置いておきます。 
3・4年生	3年生から教科書類が増えます。最初のうちはご家庭で相談していただき、一緒に持ち物を確認してあげてください。慣れてきたら自分で判断できるように、見守り、支えてあげてください。 【毎日持ち帰るもの】 <教科書>国語・算数 <ノート>各教科のノート	【置き勉できるもの】 <教科書>書写・社会・理科・音楽・図工・道徳・保健・外国語活動 <補助資料>地図帳
5・6年生	子どもの判断を見守り、定期的に相談・確認の機会を設け、見守りながら意識付けへの声かけをしてあげてください。 【毎日持ち帰るもの】 <ノート>各教科のノート	【置き勉できるもの】 <教科書>国語・算数・書写・社会・理科・音楽・図工・家庭・保健・外国語・道徳 <補助資料>地図帳・資料集

【自己管理のもと、机の中や横の棚に保管します。(コロナ禍で掃除時間に机を運ばないため)】

※絵具セットや習字セットは使う度持ち帰り、きれいにしておきます。絵具セットについては続けて使う場合はパレットのみを袋(ジップロックなど)に入れて持ち帰ることも可。

※学期末には、計画的に少しずつ持ち帰ります。

※場合によって、担任の指示で学習に使用する教科書や資料集などを教室で預かることがあります。

